

2026 年 1 月 15 日

岐阜市長選挙予定候補者

様

「長良川を守るためのアンケート」のお願い

(岐阜市長選挙予定候補者アンケート)

よみがえれ長良川実行委員会 共同代表 粕谷 志郎・亀井 浩次

市民生活の向上と市政発展をめざし、来たる岐阜市長選挙に立候補されたことに敬意を表します。私たちは長良川環境改善を目指し、長良川河口堰の開門調査と木曽川水系連絡導水路事業の中止を求める市民団体です。

昨年、運用 30 年となる長良川河口堰について、私たちは岐阜市内でシンポジウムやパネル展を開催し論議を広げてきました。地球温暖化や外来種の侵入などで長良川をめぐる環境が厳しくなる中、様々な立場からその解決のための努力が求められ「河口堰の開門調査」を期待する世論とともに開門の賛否を超えた「対話」の気運の高まりを確認しました。

木曽川水系連絡導水路事業は一昨年「事業継続」が決定され、現在市内各地で事業者による環境調査や地質調査が行われ「環境レポート」づくりが進められています。長良川は言うまでもなく岐阜市民の宝です。千三百年の歴史を持つ鵜飼い場に「徳山ダムの水を流す」ことによる取り返しのつかないダメージは明らかです。また、あらたに提示された「地中深く埋設される長大な高圧水管」案は地域の地下水低下や管の破裂・陥没事故の不安を高めています。ところが、市民には事業の意義や内容がまったく明らかにされていません。

市長選挙にあたって私たちは候補者の皆様が長良川をめぐる当面重要な課題と考えられます「木曽川水系連絡導水路事業」と「長良川河口堰の開門調査」についてどのように考えられておられるのか強い関心を持っています。有権者は投票行動の重要な判断材料とされると思います。多忙なときとは思いますが趣旨をご理解いただき、別紙「**長良川を守るためのアンケート**」にご回答いただくようお願いいたします。結果はマスコミに発表するとともにホームページ（<http://dousui.org/>）にて公開させていただきます。

ご回答は、**1月22日（木）**までに、メールにて以下のところへお届けくださるようお願いいたします。

E-Mail [mutohitoshi@yahoo.co.jp](mailto:mutohitoshi@yahoo.co.jp)

なお不明なことがありましたら事務局の武藤 090-1284-1298 迄ご連絡ください。

以上

## 長良川を守るためのアンケート

(岐阜市長選挙予定候補者アンケート)

回答者名（予定候補者名） \_\_\_\_\_ （回答日） \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

1 「木曽川水系連絡導水路事業」について、どうお考えですか。以下の事項を選択して（複数選択可）ご回答ください。

- (1) 異常渇水時、長良川の環境改善に役立つので事業を推進すべきである。
- (2) 事業の意義が市民に理解されていない。地域の地下水低下や長良川への放流による長良川の環境悪化の懸念から事業の中止を求める。
- (3) 環境悪化と世界農業遺産「清流長良川の鮎」のイメージダウンが懸念されるので長良川への放流は認めない。
- (4) その他

2 「長良川河口堰の開門調査」について、どうお考えですか。以下の事項を選択してご回答ください。

- (1) 長良川河口堰は利水・治水に必要なものであり、開門調査は必要ない。
- (2) 長良川の環境改善のために、開門調査すべきである。
- (3) その他

3 長良川をいかしたまちづくりや、「長良川を守るため」の政策提案・マニフェスト・お考えがあれば述べてください。



# 長良川を守るためのアンケート

(岐阜市長選挙予定候補者アンケート)

回答者名 (予定候補者名) 大須賀しづか

(回答日) 1月17日

1 「木曽川水系連絡導水路事業」について、どうお考えですか。以下の事項を選択して(複数選択可) ご回答ください。

(1) 異常渇水時、長良川の環境改善に役立つので事業を推進すべきである。

☒ (2) 事業の意義が市民に理解されていない。地域の地下水低下や長良川への放流による長良川の環境悪化の懸念から事業の中止を求める。

☒ (3) 環境悪化と世界農業遺産「清流長良川の鮎」のイメージダウンが懸念されるので長良川への放流は認めない。

(4) その他

2 「長良川河口堰の開門調査」について、どうお考えですか。以下の事項を選択してご回答ください。

(1) 長良川河口堰は利水・治水に必要なものであり、開門調査は必要ない。

☒ (2) 長良川の環境改善のために、開門調査すべきである。

(3) その他

3 長良川をいかしたまちづくりや、「長良川を守るため」の政策提案・マニフェスト・お考えがあれば述べてください。

貴団体の日頃からの活動に敬意を表します。岐阜市生まれ、岐阜市育ちの私は、日常生活にはいつも長良川がありました。40万都市の真ん中を泳げる川、天然アユが取れる川があることが自慢です。ダムは免れても、河口堰が作られたことは、残念です。水が一滴も売れていない徳山ダムも見通し違いの無駄遣いでした。私の公約には「木曽川水系連絡導水路は、長良川の環境、市内各地の水源に重大な影響が懸念され、百害あって一利なしの事業であり、中止を求める」となっています。